



舟渡小☆コミュニティ・スクールいじめ

令和6年度 第2号
板橋区立舟渡小学校
校長 梶田 佳江
記録 舟渡小PTA会長
塚本 原野
令和6年7月19日

第2回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)委員会 ご報告

令和6年度 第2回コミュニティ・スクール委員会を以下のとおり開催いたしました。

今年度は道徳授業地区公開講座「特別の教科 道徳」の授業参観をしていただき、保護者を交えた形で熟議(意見交換会)を開催しました。

開催日時: 令和6年7月6日(土)
9:30~11:20

場所: 舟渡小学校図書室

司会: 地域コーディネーター 高橋 慶太様

次第:

- (1) 道徳授業地区公開講座授業参観
全学級公開 テーマ「いじめ防止」
※土曜授業プラン学校公開
- (2) 校長あいさつ
- (3) iCS委員長あいさつ
- (4) 1学期行事等報告
- (5) 熟議『授業を参観して、改めて“いじめ”、“不登校”対策として保護者やiCSができる取組について』
- (6) オブザーバー/委員の皆様より

iCSオブザーバー 教育委員会指導室より板橋区の取組について 指導室 統括指導主事 山田 実也 様

はじめに下記のとおり、山田様よりお話を頂戴しました。いじめの定義については、保護者も初めて聞くもので、子どもと話す上でも意識すべきポイントであると感じました。

(お話より抜粋)

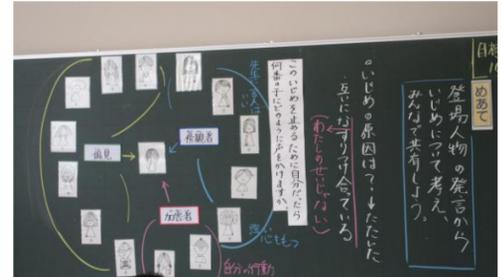
道徳が教科となり、教科書を使い、学ぶようになりました。本日、授業を見学させていただき、1~6年生の発達段階に応じて、先生方がいじめを減らすための思いやりの気持ちについて、授業されており非常に良い雰囲気で行われていました。

いじめについては、これまで定義があいまいでしたが、「一定の人的関係のある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの」を指す、となりました。いじめの、①未然防止②早期発見③解決、のため様々な取組を推進しております。

いじめは悪だ、いけない、と蓋をするのではなく、しっかり向き合うこと。道徳を通じて、友達理解・自己理解・人間理解を進め、人間の弱さ(悪いと思っても言い出せない、踏み出せない)を理解した上で、少しでも勇気を出して行動できる児童が一人でも増えていくことを願っています。

道徳授業地区公開講座 授業参観

委員、オブザーバーの皆様には、土曜授業プラン学校公開(道徳授業地区公開講座)の授業を参観いただきました。



熟議『授業を参観して、改めて“いじめ”、“不登校”対策として保護者やiCSができる取組について』

保護者とiCS委員・オブザーバーが3グループに分かれ、熟議を行いました。

保護者意見: いじめ、不登校へどう向き合っていくか、まずは子どもの様子をよく見て、話を聞くこと。何かトラブルがあってもすぐに介入はせず、子ども同士での解決を促す。(いじめはしてほしくないが、ケンカ・意見の衝突、その解決、という経験は積んでもらいたい。)

話を聞く場合も、複数人などから話を聞いていく、すぐ先生に頼ってばかりにならないようにすべき、などの意見が出ました。

地域: 保育園・児童館・中学校などの連携が重要で、日頃から児童が安心して活動できるよう、認め合いが重要である。チクチク・ふわふわ言葉を早くから教えていく、青健からは時代の変化、コミュニケーションの取り方の変化に応じた接し方を考えていくべきという意見をいただきました。

まとめとして、個の尊重とつながりを伝えていきたい、という意見が出ました。

また、不登校については、「様々な要因で発生するため、厳密には原因が分からないことが多く、まずは学校にクールダウンできる居場所、落ち着く居場所を作ることが重要である。」というお話を統括指導主事 山田様より頂戴しました。

→iCS委員会の様子は裏面に紹介しています。

次回の予定

次回の開催は、右記のとおり予定をしています
第3回は、5・6年生の委員会活動にご参加していただき、活動の様子について感想を共有いただくとともに、地域や保護者が協力できることがないか、熟議していきます。



次回(第3回)
開催日程は
10月7日(月)
14:00~15:30



～ICS委員会の様子～

各グループともに、活発な意見交流がなされました！



=保護者から=

- ・(2・4・6年) 6年生発言多. 15学年 先生が意見多
- ・(1・4年) 1年 先生1人. 4年 フォニク内容 {仲間にはわかる側の方でclose up.}
- ・(3・5年) 5年→見直し. 3年 先生が意見を述べた. 4年見直し.

ICS委員から:

- ・2年 学び直し, 両面性とも感じ. 国語の学習は... (何年前とは変わってる. 以前... 新種も多くなってる.)
- ・6-1 いじめ 3グループに分けて. DO・PE・見 (話しやすい. 球になる. 今... 思ってる. 先生から命と人生大事. 国語は... 読書は... 道徳は... 書いてある.)
- ・i-kids 周り. 内容がよくなる(目標で). 仲間にはわかる側は例 = 大抵は思ってる. 相手の意見をよく聞く.

架け橋プロジェクト

安心して活動していた
認め合い見られた→日常から

就学前としての立場から連携したい
4/47.3かわ言葉 教える

地域

学校

家庭

保幼小の連携 家庭・地域との連携を望みたい

子どもが不登校を体験した

人との違い 大切にしたい

SNSツールの発達によるコミュニティの変化

アンケートの実施 子どもから聞く 親として 生き方を伝えたい

青健として、時代の変化
しかし、いじめは常にある
大人もハラスメント問題

キーワード: 個の尊重とつながり 伝えていくこと



↑ 1

★保護者同士のコミュニケーション
★親子のかわり
★子どもに関わる材料 増やす

ケニカした

特定の誰かを対象×
↳ 悪ふざけ

やられたことは話す
← やったことは話さない

ケンカ

相手側の思いがわからない...
親の入り方が難しい
「何かや-たてしよ?」

学校に
問い合わせしたい...

他のママに裏を取る

いじめはしてほしくない。
でも、
ケンカをして自分たちで
解決お力を身に付けて
ほしい!

多くの大人の目で見守る
↳ 地域の方々にぜひ

各家庭での方針のちがいを
↳ 子ども同士から親同士の声!

